

【様式その2】

請求日 令和 年 月 日

(宛先) 門真市長

施設等利用費請求書 (預かり保育事業 償還払い用)

幼稚園・認定こども園・特別支援学校幼稚部の預かり保育事業の施設等利用費

令和 年 月～令和 年 月分請求用

私は、子ども・子育て支援法第30条の11第1項の規定に基づき、施設等利用費の給付について、下記の通り請求しますので、指定する償還払いの振込先口座に振り込んで下さい。

なお、施設等利用費の審査にあたり、次の事項に同意します。

1. 申請者と認定子どもが、門真市内に居住していることを門真市が住民基本台帳で確認すること。
2. 実際に利用していることを門真市が対象施設に確認すること。
3. 利用料の支払い状況を門真市が対象施設に確認すること。
4. 課税状況を門真市が確認すること。

1. 施設等利用給付認定保護者(請求者)

フリガナ		現住所	
氏名			
		電話	

新2号認定：満3歳に達する日以後最初の3月31日を経過した保育の必要性の認定を受けた就学前子ども

⇒4月1日時点の年齢が3歳で、保育の必要性がある子ども

新3号認定：満3歳に達する日以後最初の3月31日までの間にある保育の必要性の認定を受けた就学前子ども

⇒4月1日時点の年齢が3歳に満たない子どもで、保育の必要性があり、市町村民税非課税世帯である子ども

2. 認定子ども(認定子どもごとに申請して下さい)

法第30条の4の認定種別	<input type="checkbox"/> 新2号 <input type="checkbox"/> 新3号	フリガナ	
生年月日	平・令 年 月 日	氏名	
令和 年 月 日～令和 年 月 日の間の住所			
<input type="checkbox"/> 現住所のとおり <input type="checkbox"/> 転入した <input type="checkbox"/> 転出した			
上記で転入または転出に該当した場合は転入・転出日を記入			令和 年 月 日

3. 在籍する幼稚園・認定こども園・特別支援学校について記入

フリガナ		所在地	〒	
施設名称		(市外の場合のみ記入)	電話:	
令和 年 月 日～令和 年 月 日の間の在籍状況	<input type="checkbox"/> 期間中在籍 <input type="checkbox"/> 途中入園した <input type="checkbox"/> 途中退園した			
上記で、途中入園または途中退園に該当した場合はその年月日を記入			令和 年 月 日	

4. 償還払いの振込先をご記入下さい。

(請求者と異なる振込先の場合裏面下部の委任欄の記入が必要です)

金融機関名	預金種目	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座				
銀行・信用金庫	支店	口座番号				
農協・信用組合	出張所	口座名義(カタカナ)				

<裏面も記入して下さい>

5. 在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合はご記入ください。(※1)

①	フリガナ		所在地	〒
	施設名			電話:
②	フリガナ		所在地	〒
	施設名			電話:
③	フリガナ		所在地	〒
	施設名			電話:

※①～③に書き切れない数の施設・事業を利用した場合は、余白等に記入して下さい。

※1 「在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合」とは、在籍園の預かり保育事業について、教育時間を含む平日の預かり保育の提供時間数が8時間未満又は年間(平日・長期休業中・休日の合計)開所日数200日未満の場合のみです。

6. 在籍園の預かり保育事業と、認可外保育施設等の利用(※1)における施設等利用費の償還払い請求の内訳をご記入ください。

利用年月	在籍園の預かり保育事業				認可外保育施設等に支払った金額(d) ※2 ※3	請求額 ※4 (「c+d」か月額上限額の低い方を記入)
	施設に支払った金額(a) ※3	利用日数	対象額(b) (450×利用日数)	aとbの金額の低い方を記入(c)		
令和 年 月	円	日	円	円	円	円
令和 年 月	円	日	円	円	円	円
令和 年 月	円	日	円	円	円	円

※2 「認可外保育施設等に支払った金額」は、預かり保育事業について、教育時間を含む平日の預かり保育事業の提供時間数が8時間未満又は年間(平日・長期休業中・休日の合計)開所日数200日未満の場合のみ記入が可能です。

※3 上記で記入した「施設に支払った金額」及び「認可外保育施設等に支払った金額」を証明する領収証と特定子ども・子育て支援提供証明書を添付して下さい。

※4 月額上限額は、法第30条の4の認定種別が第2号の場合は11,300円、第3号の場合は16,300円となります。「c+d」がこれを超える場合は、それぞれの月額上限額を記入して下さい。

7. 施設等利用費の償還払い先が異なる場合はご記入ください。(※請求者と振込先が同じ場合は記入不要です)

施設等利用費の償還払い先の委任	
受任者(口座名義人)住所	
氏名	
私は、上記の者を代理人と定め、私の施設等利用費を受領する権限を委任します。	
令和 年 月 日	
委任者(認定保護者)	
氏名	

施設等利用費請求書（預かり保育事業 償還払い用）

幼稚園・認定こども園・特別支援学校幼稚部の預かり保育事業の

令和6年4月～令和6年6月分請求用

4月から3カ月毎の請求が
基本となっております。

私は、子ども・子育て支援法第30条の11第1項の規定

- 支給認定通知書にて認定を受けた保護者（認定保護者）が請求者となります。
- 認定保護者以外での請求は、不可です。
- 認定保護者は施設等利用給付認定通知書に記載しております。
- 氏名は必ず自署してください。

払いの振込先
の事項に同意
住しているこ
象施設に確認
設に確認する

- 修正液・修正テープ・消えるボールペンは使用不可です。
- 押印は不要になりました。
- 訂正箇所には二重線を引き、自署でフルネームを以下のようにご記入ください。

4月1日 門真
4月10日 一郎

1. 施設等利用費（付認定保護者（請求者）

フリガナ	カドマ イチロウ	現住所	門真市〇〇町1-1
氏名	門真 一郎	電話	090-9999-XXXX

新2号認定：満3歳に達する日以後最初の3月31日を経過した保育の必要性の認定を受けた就学前子ども
⇒4月1日時点の年齢が3歳で、保育の必要性がある子ども

新3号認定：満3歳に達する日以後最初の3月31日までの間にある保育の必要性の認定を受けた就学前子ども
⇒4月1日時点の年齢が3歳に満たない子どもで、保育の必要性があり、市町村民税非課税世帯である子ども

2. 認定子ども（認定子どもごとに申請して下さい）

法第30条の4の認定種別	<input checked="" type="checkbox"/> 新2号 <input type="checkbox"/> 新3号	フリガナ	カドマ ハナコ
生年月日	平・令 ●●年 ●月 ●日	氏名	門真 花子
令和6年4月1日～令和6年6月30日の間の住所	<input type="checkbox"/> 現住所のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 転入した <input type="checkbox"/> 転出した		
上記で転入または転出に該当した場合は転入・転出日を記入		令和 ●年 ●月 ●日	

転入または転出の場合、
異動日を記入してください。

3. 在籍する幼稚園・認定こども園・特別支援学校について記

フリガナ	■■■■ヨウチエン	所在地	〒
施設名称	■■■■幼稚園	(市外の場合のみ)	
ゆうちょ銀行の場合、店名については通帳・キャッシュカードに記載されている「記号」の左から2～3桁目の数字の最後に「8」をつけてください。口座番号は「番号」の最後の「1」をとってください。なお、店名は漢数字でご記入ください。 (例：記号11940 番号12345671の場合⇒店名 一九八店、口座番号 1234567)	同 中 在 籍 <input checked="" type="checkbox"/> 途 中 入 園 した <input type="checkbox"/> 退 園 した	を 記 入	令和 ●年 ●月 ●日

振込先は原則、上記で記載した請求者（認定保護者）と同じ口座名義人となります。特別な事情により請求書（認定保護者）と口座名義人が異なる場合は委任状が必要です。裏面下部の委任欄にご記入下さい。

が必要です)

金融機関名	銀行・信用金庫	預金種目	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座
●●●●	●●●●	口座番号	9 9 9 9 9 9 9
農協・信用組合	出張所	口座名義(カタカナ)	カドマ イチロウ

<裏面も記入して下さい>

5. 在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合はご記入ください。(※1)

①	フリガナ		所在地	〒
②	フリガナ		所在地	〒
③	フリガナ		所在地	〒

下記の※1に当てはまる場合のみ記入してください。

(a)については、領収証の「特定子ども・子育て支援利用料」(預かり保育料)を記載してください。「特定費用」(食材料費や日用品費等)については対象外ですので、金額に含めないでください。(d)については、保育料のみ記載してください。食材料費や日用品費等は対象外ですので、金額に含めないでください。

※①～③に書き切れない数の施設・事業を利用
 ※1 「在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用(※1)における施設等利用費の償還払い請求の内訳をご記入ください。」

できる場合」とは、在籍園の預かり保育事業について、教育時間を含む平日の預かり保育事業の提供時間数が8時間未満又は年間(平日・長期休業中・休日の合計)開所日数200日未満の場合のみ記入が可能です。

6. 在籍園の預かり保育事業と、認可外保育施設等の利用(※1)における施設等利用費の償還払い請求の内訳をご記入ください。

利用年月	在籍園の預かり保育事業				認可外保育施設等に支払った金額(d) ※2 ※3	請求額 ※4 (「c+d」か月額上限額の低い方を記入)
	施設に支払った金額(a) ※3	利用日数	対象額(b) (450×利用日数)	aとbの金額の低い方を記入(c)		
令和6年 4月	7,000 円	20 日	9,000 円	7,000 円	0 円	7,000 円
令和6年 5月	12,000 円	21 日	9,450 円	9,450 円	0 円	9,450 円
令和6年 6月	5,000 円	15 日	6,750 円	5,000 円	0 円	5,000 円

※2 「認可外保育施設等に支払った金額」は、預かり保育事業について、教育時間を含む平日の預かり保育事業の提供時間数が8時間未満又は年間(平日・長期休業中・休日の合計)開所日数200日未満の場合のみ記入が可能です。

※3 上記で記入した「施設に支払った金額」及び「認可外保育施設等に支払った金額」を証明する領収証と特定子ども・子育て支援利用料の領収証を添付してください。

※4 振込先口座名義人が請求者(認定保護者)と異なる場合は必ずご記入下さい。(同じ場合は記入不要です) 第3号の場合は16,300円となります。「c+d」の低い方を記入して下さい。

7. 施設等利用費の償還払い先を委託する場合はご記入ください。(※請求者と振込先が同じ場合は記入不要です)

施設等利用費の償還払い先の委任	
受任者(口座名義人)住所	門真市中町〇-〇
氏名	門真 桃子
私は、上記の者を代理人と定め、私の施設等利用費を受領する権限を委任します。	
委任者(認定保護者)	令和 年 月 日
氏名	門真 一郎

委任者の住所と押印は不要になりました。氏名は必ず自署してください。